

船舶データへの気象海象データ結合システム開発 (その1 実況データ作成)

一般財団法人 日本気象協会

- シップデータセンターは船舶に関わるビッグデータ基盤として、運航データを収集、蓄積し、また利用者にデータを提供する。日本気象協会は、気象海象情報を提供し、両者の持つデータを組み合わせることで、船舶向け総合データベースを実現する。
- 気象海象情報のうち海上風（風向・風速）、波浪（波高・周期・波向）、海流（流向・流速）の実況推定データを、シップデータセンター登録船舶に無償で提供するシステムを構築する。

- 基本情報(航路上の予測値提供)
 - 空間解像度0.5°
 - 時間間隔3時間
 - 実況データ:過去3時間

要素 対象範囲	要素詳細	無償標準サービス
海上風(10m) 範囲: 90° N - 90° S	標高: 10m 要素: 風向・平均風速	実況データ (過去3時間-現在)
波浪(有義波) 範囲: 75° N - 75° S	種別: 有義波 要素: 波高・周期・平均波向	実況データ (過去3時間-現在)
海流(表層) 範囲: 60° N - 60° S,	水深: 海面 要素: 海流の流向・流速	実況データ (過去3時間-現在)

- 本開発では、無償で提供するための気象海象情報提供システムの構築を行った。
- 航路上の実況推定値を提供することで、運航データに紐づけられ、データ利用者の利便性が高まると考えられる。
- 今後はより高精度、高解像度な気象海象情報の有料提供や、個別オプション対応などについての検討を行う。